



Q 魚沼基幹病院の経営は 大丈夫か

並木利彦 (文責)



A 2月に経営改善プログラムを策定し、 経営改革が進んでいると認識している

質問

住民の健康意識を高めることは、地域医療の維持に重要な役割を果たしたり、健康診断の受診率向上や予防医療の啓発活動を通じて、病院の負担軽減と地域全体の健康水準向上が見込めたり、地域と病院が一体となって取り組むことで持続可能な医療体制の構築が可能となると思うが。

答弁

これらを前に進めていくことがとても大事だと思う。

質問

町内では、特に大規模事業者から「融雪井戸を2本以上設置したい」との要望がある。これは、機械除雪にかかるコスト削減や企業誘致の観点から、融雪井戸の活用が不可欠ではあるが、井戸の乱立は地下水資源の枯渇リスクを高め、一般家庭や他事業者の井戸枯れを招く恐れがある。1本あたりの掘削コストが高額であることから、枯渇による損失は大きい。「地下水採取の規制に関する条例」に基づき、湯沢町で

は「地下水対策委員会」が設置されている。同委員会にて過去の井戸枯れ事例の位置や深度などのデータを踏まえ、地下水影響が小さいと判断される地域に限定して増設を認める可能性はあるのか。

答弁

この条例の目的である公共用水道の水源や道路消雪等の水源の保全に影響がない地域においては、井戸本数の規制について今後検討する必要があると考えているが、令和6年度の湯沢地区の駅東地内では、道路の消雪井戸数本が枯渇したことから、規制強化も検討していく。

今年度は賃金の上昇により、多少生活が楽になる兆しが見えていたが、来年度は賃金の伸びが不透明な状況。物価の上昇が続く中、地域経済の持続的な発展のためには、より一層の工夫と対策が必要。湯沢町は観光を基盤とする町。他地域からのお客様によって支えられているため、観光対策の強化は不可欠。

■■■当面の観光課題■■■

- ・夏季観光対策
- ・外資との共存共栄
- ・各エリアの観光資源の深掘り

湯沢町の事業者の中には、融資を受けながらも投資の余力がない状況にある方が多い。

売上が伸びても、物価や人件費の上昇によって投資に回せる余裕が生まれれないのが現状。

新型コロナが下火となり、全国各地で観光競争が本格化する中、湯沢町の強みを生かした経済政策を商工会、観光まちづくり機構、行政、議会が一体となって協議し、検討していくことが求められている。



<https://yuzawa.tv/20250618/>

質問

夏季観光対策、冬季はインバウンド需要の増加もあり、売上が好調。しかし、夏季シーズンの集客をさらに強化し、年間を通じて安定した観光収入を確保する必要があると思うが、夏季観光対策をどのように考えているのかお聞きする。

答弁

夏季観光に限らないが、例年今年の計画といったものは策定していない。現在、町の観光施策は湯沢町観光振興計画に基づいて取り組みを進めている。